

# いわて女性の活躍促進連携会議の取組

## 【事業実施主体】

岩手県

## 【連携団体】

- 岩手県商工会議所連合会
- 岩手県中小企業団体中央会
- 岩手県商工会連合会
- 岩手経済同友会
- 岩手県経営者協会
- 岩手県中小企業家同友会
- 岩手県銀行協会
- 岩手県信用金庫協会
- 岩手県農業協同組合中央会
- 岩手県漁業協同組合連合会
- 岩手県農業会議
- 岩手県森林組合連合会
- 認定NPO法人いわて子育てネット
- NPO法人参画プランニング・いわて
- 岩手労働局
- 岩手県男女共同参画センター
- 岩手県

計 17団体等

## 【目的】

少子高齢化社会において労働力人口の減少が見込まれる中、女性の労働力を活用することは経済活性化のために必要なことであるとともに、東日本大震災津波からの復興においては、オール岩手での取組みが必要であり、特に女性の活躍が求められている。

このため、岩手県の女性の活躍を推進することによって復興の加速化を進め、地域経済活性化に寄与することを目的として、経済団体や産業団体等の関係団体による、いわて女性の活躍促進連携会議を設置する。

## 【主な取組】

- ☆いわて女性の活躍促進連携会議の設立及び運営
- ☆連携会議構成団体間の情報共有
- ☆女性の活躍に関する各種事業の実施
  - キックオフイベント、実態調査、経営者向けセミナー、ロールモデル提供事業、起業支援研修、事業所訪問等

# 事業実施概要

## ★ 連携会議設立 (H26.5.22)

県内の経済団体・産業団体等17組織により設立。

会長に達増拓也岩手県知事、副会長に吉田ひさ子さん(岩手県中小企業家同友会代表幹事)を選出。



## ★ キックオフイベント (H26.7.15)

活躍している女性からの講演等を実施

- ・田中俊恵岩手県警察本部長(当時)
- ・吉田ひさ子岩手県中小企業家同友会代表幹事 等

参加者約140名

## ★ 経営者・管理職向けセミナー (26.12.5)

県内事業所の経営者や管理職を対象とし「男性も女性も働きやすい職場のため」をテーマとした講演と事例発表を実施

講演講師: 川島高之さん(NPO法人コヂカラ・ジャパン代表)

事例発表者: 佐々木栄子さん((株)平金商店管理部部長)

参加者約50名



# 事業実施概要

## ★ ロールモデル提供事業(27.1.16)

「若い人に伝えたい！女性管理職の実際」と題し、県内事業所で管理職として勤務している女性5人からの発表と、講師と参加者による意見交換を実施  
講師：岩手銀行、東北銀行、(株)イオンスーパーセンター、SS建築デザイン室(有)、(株)和同産業の女性管理職  
約30名参加



## ★ いわて女性の活躍促進に関するアンケート

### 【調査内容】

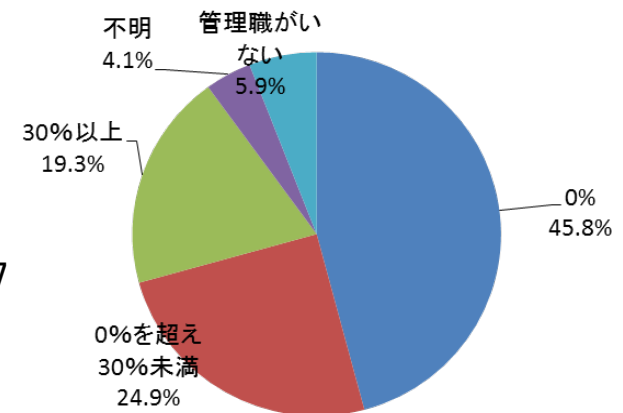
- 1実施時期 平成26年7月1日～7月31日
- 2対象 岩手県内に所在する従業者規模10人以上の民営事業所 1,000事業所
- 3調査方法 質問紙による郵送調査法

【回答数】 541事業所(回答率 54.1%)

※女性のチャレンジ支援サイトに結果掲載

<http://www5.pref.iwate.jp/~hp0313/cgi-bin/news.cgi?f1=1422427537>

### ●事業所における女性管理職の割合



# 事業効果

## ☆ 連携会議の設立による、地域における女性の活躍の気運の向上

○連携会議研修会やセミナー・会議等への参加者 のべ 約500名

○連携会議構成団体での取組み例

岩手県商工会議所連合会：女性を対象とした創業塾の開催

岩手県商工会連合会：女性部研修において、女性の活躍をテーマとした講演の実施

岩手経済同友会：活躍している女性を講師とした講演会の開催

岩手県中小企業家同友会：男女共同参画をテーマとした講演等の実施

## ☆ 連携会議構成団体間における女性活躍に関する情報共有

連携会議担当者会議での情報共有及び意見交換(年4回)及び構成団体等主催事業の情報共有

## ☆ アンケート等による県内事業所における女性の活躍に関する実態把握

## ☆ 厚生労働省「女性の活躍推進宣言事業所」の増

8事業所⇒22事業所

# 今後の課題

## ☆ 連携会議構成団体間の情報共有の推進

女性活躍に関する構成団体等の取組等を必要な方へ届けるためのしくみづくり

## ☆ 更なる意識啓発

アンケート結果から、女性管理職のいない事業所が5割弱、女性役員のいない事業所が約4割であること、必要な行政施策として以下の項目があげられたことから、更なる意識啓発が必要である。

○「仕事と家庭の両立支援」、「保育サービスの充実」、「女性に対する意識啓発」、「女性に対する教育訓練の充実」⇒女性が働き続けられる環境の整備と、女性自身に対する教育・啓発

○「男性に対する意識啓発」、「事業主に対する意識啓発」⇒周囲(男性や経営者等)の意識啓発